

福祉サービス第三者評価の結果

平成25年3月25日提出(評価機関 推進委員会)



1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概況

事業所名称 (施設名)	明星保育園	種別	認可保育所		
代表者氏名 (管理者)	園長 澤口 由加里	開設年月日	昭和26年4月1日		
設置主体 (経営主体)	社会福祉法人みろく会	定員	120名	利用人数	104名 調査日現在
所在地	(031-0822) 青森県八戸市大字白銀町字浜崖13-2				
連絡先電話	0178-34-4663	FAX電話	0178-34-4681		
ホームページアドレス	http://www.mirokukai.or.jp/myojo/				

(2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事		
一時預かり事業、障害児保育事業、ふれあい保育事業	入園式、バス遠足、運動会、人形劇、公開保育、虫捕り遠足、		
延長保育事業、地域子育て支援拠点事業、病後児保育事業	とん汁パーティー、七五三、おしるこパーティー、クリスマス会、		
休日保育事業	新年の集い、すきやきパーティー、スケート大会、節分、お別れ会、		
高齢者との交流、年長児スイミング、幼年消防クラブ活動化事業	おめでとう大会、卒園式、修了式、一日入園、誕生会、避難訓練		
居室概要	居室以外の施設設備の概要		
保育室3室	乳児保育室兼ほふくスペース、事務室、給食室、畑、ガーデン		
	園庭、駐車場など		
職員の配置			
職種	人数	職種	人数
園長	1人	非常勤調理員	3人
主任保育士(看護師)	1人	事務兼保育補助員	1人
保育士	14人	非常勤用務員	1人
非常勤保育士	6人	嘱託医(小児科)	1人
看護師	2人	嘱託医(歯科)	1人
栄養士	1人	第三者委員	2人

2 評価結果総評

<p>特に評価の高い点</p> <p>園長は自らの経営観や保育観を、職員には会議等で、保護者等には入園説明時や進級式・保育参観等で積極的に表明している。また、年1回職員からの評価を行い、同様に保護者からは評価アンケートを実施することで、総合的に管理者としての実績の妥当性を検証しています。この取り組みは他の管理者の模範となる特筆できるものと高く評価できます。</p> <p>また、職員集団の資質の向上と更に的確で上質な保育サービスの提供の実現に向けて、園内外の研修・OJT研修を意欲的かつ計画的に実施している他、保育の実施にあたっては、担当者 クラスリーダー 副主任・主任 園長と、重層的・連続的・循環的な流れの中で進めており、これら一連の取り組み姿勢も高く評価できるものです。</p> <p>安全委員会や保健衛生委員会の設置、小学校の緊急連絡メールや県警の子ども安全情報ネットワークへの加入等、緊急情報を多チャンネルから積極的に入手するよう努める一方、リスクマネジメント研修等で得たスキルを基に、更なる事故防止・安全確保に努めています。また、食中毒発生を想定した訓練を年2回実施していることも特徴的な取り組みとして高く評価できます。</p> <p>毎月の職員会議やケース会議は、どちらも2日間開催することで、子どもや保護者の様子や情報をはじめ、保育や支援のあり方が職員間で十分に共有できており、詳細な記録からも検討協議の丁寧さが十分に認められ、高く評価できる取り組みといえます。</p>
<p>特に改善を要する点</p> <p>口頭説明や重点・変更事項を記した資料配布では、保育園の事業全体を十分に伝えきれているとは判断できませんので、事業計画はできればダイジェスト版を作成するなどして、保護者やできれば地域関係者にも配布・送付することが望まれます。</p> <p>保育園が目指す上質な保育サービスの実現に向けて、職員研修や自己評価、人事考課等々、多彩な人材確保・育成と人事管理が実施されていますが、法人や園長の人材確保・管理のビジョンを織り込んだ具体的なプランをぜひとも文章化し、職員が今以上に納得しながら職務遂行に意欲を示すことができるよう職員へ提示・説明することに期待します。</p> <p>保育園におけるプライバシーは「知られたくない」ことだけでなく、「見られたくない」「聞かれたくない」等々への配慮も必要ですので、個人情報保護とは区別された子ども・保護者のプライバシー保護についての基本姿勢や、保育者に求められるべき姿勢・意識、実務における注意点等を盛り込んだ規程・マニュアル等を整備し、配慮の標準化を進めることが望まれます。</p> <p>子どもの記録文書に関する規程等を定め、管理責任者の職務・権限、管理・記録者の業務、保管場所・方法、保存年限、廃棄方法、情報の開示方法等についてのルールを明確にして、より適正な管理運営を進めることに期待します。</p>

3 第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>19年度の実績に続き、今回は2回目の受審でした。職員は、2回目の職員は約半数で、その後の採用や当時育休中であった職員は初めての受審となりました。毎年同じ内容の自己評価に全員が参加し取り組んではいますが、前回同様、第三者の方からの評価を受けるということで、様々な職種・立場・担当の職員が自分の役割や責任についての理解を深めたり、再確認をしようという機会となりました。また、自分達では気づけなかった、あるいは見落としていた点に気づかせていただくことが出来ました。</p> <p>今後は、組織の課題を明確にし改善計画を立て、皆で改善に取り組み、更にはその検証を行っていきたいと考えます。たくさんの方のアイデアや改善のポイントを教えて下さった調査者の方々にも感謝申し上げます。</p>

評価機関	名称	社会福祉法人青森県社会福祉協議会
	所在地	青森市中央三丁目20番30号
	事業所との契約日	平成24年9月20日
	評価実施期間	平成24年11月21日、11月28日
	事業所への評価結果の報告	平成25年3月12日

4 評価細目の第三者評価結果

評価細目の第三者評価結果

評価対象	福祉サービスの基本方針と組織	第三者評価結果	評価結果講評
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			<p>「心のケア・保育」を法人の理念に、モンテッソーリの教育精神に基づき「子どもの自己発達を手助けすること」を保育園の理念に据え、いずれも法人と保育園の使命・役割を十分に反映しており、保護者等にも分かりやすい内容となっています。また、保育園の保育目標(心身の健康を培う、自由活動の保障等)も、法人・保育園の理念と整合性のある基本方針となっています。これらの理念や基本方針は、職員には職員会議や採用時の資料(明星ファイル)の説明、毎朝の唱和等で、保護者に対しては入園時や入園進級式での説明で、地域住民・関係者にはホームページやパンフレットで、積極的に周知を図っています。</p>
- 1 - (1) -	理念が明文化されている。	a	
I - 1 - (1) - ②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	
- 1 - (2) 理念や基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) -	理念や基本方針が職員に周知されている。	a	
I - 1 - (2) - ②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a	
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			<p>組織力と人材育成を主眼とした4つを柱とする中長期計画に加え、内外の環境変化の推測に立った明星保育園5カ年成長ストーリーを策定しています。これに基づく事業計画は、保健衛生や業務改善等の各専門委員会をはじめ職員の参画による年度・年間の反省を踏まえ(事業報告書にも記載)、次年度の担当者の意向をも反映させつつ策定されており、職員は事業計画を概ね理解できています。事業計画自体は保護者に配布されてはいませんが、年度初めの入園説明時・進級式において、年度の重点事項や行事等に関する予定や変更等を説明しています。</p>
- 2 - (1) -	中・長期計画が策定されている。	a	
- 2 - (1) - ②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	
- 1 - (2) 事業計画が適切に策定されている。			
- 2 - (2) -	事業計画の策定が組織的に行われている。	a	
I - 2 - (2) - ②	事業計画が職員に周知されている。	a	
- 2 - (2) -	事業計画が利用者等に周知されている。	b	
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者の責任が明確にされている。			<p>園長は職務分掌等で管理者の責任と役割を明示し、会議等で繰り返し自らに課せられた使命や勤務姿勢を説明しています。年1回、園長としての職員からの評価を徴している取り組み姿勢は高く評価できます。また、実施する保育サービスの質の現状について定期的、継続的に評価、分析、課題の明確化、改善というサイクルにおいても、社会福祉士資格を有するスーパーバイザーとして高い指導力を発揮しています。加えて、人事考課、勤務成績評価、自己評価、個人面談等を活用しつつ、職員自らが「気づき、考え、改善・向上する」風土の形成を図っています。</p>
- 3 - (1) -	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	
I - 3 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	
- 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (2) -	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	
I - 3 - (2) - ②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	

評価対象	組織の運営管理	第三者評価結果	評価結果講評																							
<p>- 1 経営状況の把握</p> <p>- 1 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p> <table border="1" data-bbox="225 360 831 584"> <tr> <td data-bbox="225 360 427 432">- 1 - (1) -</td> <td data-bbox="427 360 831 432">事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</td> <td data-bbox="831 360 1002 432">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 432 427 504">II - 1 - (1) - ②</td> <td data-bbox="427 432 831 504">経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。</td> <td data-bbox="831 432 1002 504">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 504 427 584">- 1 - (1) -</td> <td data-bbox="427 504 831 584">外部監査が実施されている。</td> <td data-bbox="831 504 1002 584">a</td> </tr> </table>		- 1 - (1) -	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	II - 1 - (1) - ②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	- 1 - (1) -	外部監査が実施されている。	a	<p>複数の保育関連組織への加入や外部研修への積極的な参加から、事業経営をとりまく環境を的確に把握しています。地域の民生委員児童委員等との連携により、地域での特徴・変化等を把握しています。また、園長が主宰する主任・副主任会議で園児数の推移・保育士配置・遊具購入等の経営現況の把握と課題の共有等を行っており、職員会議でも全職員へ説明する他、必要に応じて協議を行い、対策や改善等、具体的に取り組んでいます。TKC(会計士の団体)所属の会計事務所に会計業務を委託し、定期的に財務全般の経営指導を受けており、その結果や必要に応じた経営改善や適正運営を行っています。</p>															
- 1 - (1) -	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a																								
II - 1 - (1) - ②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a																								
- 1 - (1) -	外部監査が実施されている。	a																								
<p>- 2 人材の確保・養成</p> <p>- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。</p> <table border="1" data-bbox="225 730 831 880"> <tr> <td data-bbox="225 730 427 808">- 2 - (1) -</td> <td data-bbox="427 730 831 808">必要な人材に関する具体的なプランが確立している。</td> <td data-bbox="831 730 1002 808">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 808 427 880">II - 2 - (1) - ②</td> <td data-bbox="427 808 831 880">人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。</td> <td data-bbox="831 808 1002 880">a</td> </tr> </table> <p>- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p> <table border="1" data-bbox="225 954 831 1104"> <tr> <td data-bbox="225 954 427 1032">- 2 - (2) -</td> <td data-bbox="427 954 831 1032">職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。</td> <td data-bbox="831 954 1002 1032">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1032 427 1104">II - 2 - (2) - ②</td> <td data-bbox="427 1032 831 1104">職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。</td> <td data-bbox="831 1032 1002 1104">a</td> </tr> </table> <p>- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p> <table border="1" data-bbox="225 1178 831 1413"> <tr> <td data-bbox="225 1178 427 1256">- 2 - (3) -</td> <td data-bbox="427 1178 831 1256">職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</td> <td data-bbox="831 1178 1002 1256">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1256 427 1335">II - 2 - (3) - ②</td> <td data-bbox="427 1256 831 1335">個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。</td> <td data-bbox="831 1256 1002 1335">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1335 427 1413">- 2 - (3) -</td> <td data-bbox="427 1335 831 1413">定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</td> <td data-bbox="831 1335 1002 1413">a</td> </tr> </table> <p>- 2 - (4) 実習生の受け入れが適切に行われている。</p> <table border="1" data-bbox="225 1491 831 1563"> <tr> <td data-bbox="225 1491 427 1563">- 2 - (4) -</td> <td data-bbox="427 1491 831 1563">実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。</td> <td data-bbox="831 1491 1002 1563">a</td> </tr> </table>		- 2 - (1) -	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	II - 2 - (1) - ②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a	- 2 - (2) -	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	II - 2 - (2) - ②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	- 2 - (3) -	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	II - 2 - (3) - ②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	- 2 - (3) -	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	- 2 - (4) -	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a	<p>文書化には至ってはいないものの、保育園としての人材確保・育成のビジョンやプランに基づいて具体的な取り組みがなされています。年1回、人事考課を実施し、職員の勤務姿勢の改善だけでなく、賞与や昇給の根拠としている他、組織内に業務改善委員会や保健衛生委員会を設け、業務や就労環境の改善にあたっています。また、明星保育園研修計画に基づいて積極的な内部・外部研修が実施されている他、自己評価や職員面談等で把握できた教育や研修の必要性や要望に基づいて、個別のOJTの実施や個別の記録票(研修カード)の活用により、職員一人ひとりの研修実績を評価し、次の研修に反映させています。</p>
- 2 - (1) -	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b																								
II - 2 - (1) - ②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a																								
- 2 - (2) -	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a																								
II - 2 - (2) - ②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a																								
- 2 - (3) -	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a																								
II - 2 - (3) - ②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a																								
- 2 - (3) -	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a																								
- 2 - (4) -	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a																								
<p>- 3 安全管理</p> <p>- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。</p> <table border="1" data-bbox="225 1715 831 1933"> <tr> <td data-bbox="225 1715 427 1794">- 3 - (1) -</td> <td data-bbox="427 1715 831 1794">緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。</td> <td data-bbox="831 1715 1002 1794">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1794 427 1872">II - 3 - (1) - ②</td> <td data-bbox="427 1794 831 1872">災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。</td> <td data-bbox="831 1794 1002 1872">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1872 427 1933">- 3 - (1) -</td> <td data-bbox="427 1872 831 1933">利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</td> <td data-bbox="831 1872 1002 1933">a</td> </tr> </table>		- 3 - (1) -	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	II - 3 - (1) - ②	災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	a	- 3 - (1) -	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	<p>リスク種別毎に対応体制や責任者、マニュアル等を整備し、組織内には安全委員会・保健衛生委員会等を設置している他、近隣の小学校や高等学校との連携や県警の子ども安全情報ネットワークへの加入、飲用水、非常食等の備蓄等により、子どもの安全確保に向けて積極的に取り組んでいます。子どもの安全を脅かす事例を、事故報告書、異常事態報告書、ヒヤリハット報告等で収集しつつ、要因分析を行い、事後の対策に活かしています。園長や保育士は全社協・県社協のリスクマネジメント研修を受講し、それらで得たスキルを基に、より実効性のある取り組みを目指しています。</p>															
- 3 - (1) -	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a																								
II - 3 - (1) - ②	災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	a																								
- 3 - (1) -	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a																								

<p>- 4 地域との交流</p>			<p>保育目標の1つに「自然体験、社会体験等の直接的、具体的生活体験を重視…」と明記し、子育てメイトとの連携やボランティアの活用、高齢者施設との交流や夏祭り等の実施、更には、地域子育て支援事業として、遊びのひろばの提供、園庭開放、育児相談、体験保育、親子でワンコインランチ等、地域住民との接点を多く持つよう積極的な活動を展開しています。福祉事務所、児童相談所、保健所等の連絡先は、園児連絡簿と一緒に綴られていることから、職員も日常的に情報を共有できる機会がごく自然に重ねられています。虐待予防や子育て相談の充実等に向けては、地域の民生委員児童委員や子育てメイト、保健師等と日常的・定期的に情報交換・対応協議がなされています。</p>
<p>- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>			
- 4 - (1) -	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a	
- 4 - (1) -	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	
<p>- 4 - (2) 関係機関との連携が確保されている。</p>			
- 4 - (2) -	必要な社会資源を明確にしている。	a	
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a	
<p>- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。</p>			
- 4 - (3) -	地域の福祉ニーズを把握している。	a	
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a	
評価対象	適切な福祉サービス	第三者評価結果	評価結果講評
<p>- 1 利用者本位の福祉サービス</p>			<p>職員には子どもの人権を尊重する保育の基本姿勢についての説明や教育がなされ、子どものプライバシー保護への配慮がされています。ただし、子どもや保護者が他者に知られたくない(見られたくない・聞かれたくない)ことへの配慮が、保育に関するマニュアル・手引きから読み取ることができません。子ども・保護者の満足を把握する目的で、毎年1回の保護者アンケート、保護者面談、保護者懇談会・保育参加を活発に行っています。「苦情処理マニュアル」で苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)を整備しており、入園時や年度初めの“おたより”で周知しています。</p>
<p>- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>			
- 1 - (1) -	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b	
<p>- 1 - (2) 利用者満足の向上に努めている。</p>			
- 1 - (2) -	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	a	
<p>- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>			
- 1 - (3) -	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	
- 1 - (3) -	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	

<p>- 2 サービスの質の確保</p>			<p>年1回の自己評価と定期的な第三者評価の受審により組織的かつ計画的に質の向上を図っています。理念の具現化と上質できめ細やかな保育を標準的に実践するため、保育業務や勤務シフトについての手順や注意点が詳細に定められ、「標準」として確立・定着していません。一人ひとりの子どもの発達や生活の状況等については、個人台帳に記録し、内容はケース会議や職員会議等を通じて全職員に周知されていますが、子どもに関する記録管理について規程が未整備となっており、ケース会議・職員会議は、どちらも2日間開催することで職員間での十分な情報や課題等の共有が可能となっており、高く評価できる取り組みといえます。</p>
<p>- 2 - (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。</p>			
- 2 - (1) -	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a	
<p>- 2 - (2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している</p>			
- 2 - (2) -	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	
<p>- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。</p>			
- 2 - (3) -	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b	
- 2 - (3) -	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	
<p>- 3 サービスの開始・継続</p>			<p>ホームページ、保育園のパンフレット等の広報媒体を数多く用意し、積極的な情報提供を行っています。一日入園(入園説明会)では保育園の一日をスライドショーで紹介し、利用される方々の理解が深まるよう工夫している他、分かりやすくまとめた資料を用意した上で、懇切丁寧な説明を行っています。また、保育の流れをスライドショーを活用する等、一方的な説明に終始しないよう工夫しています。退所・転所時の手順に基づき、また退所(転所)対応チェック表を活用し、忘れ物や確認漏れがないよう配慮しています。また、退所(転所)する家庭にはしおりを配布し、引き続き子育て支援センター等の利用が可能なことや、個人情報保護への配慮等を説明しています。</p>
<p>- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。</p>			
- 3 - (1) -	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	
<p>- 3 - (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>			
- 3 - (2) -	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	
<p>- 4 サービス実施計画の策定</p>			<p>入園時や進級時の児童調書へ記入や保護者面談によって、子どもや保護者の身体状況や生活状況等を把握しています。クラス毎の指導計画は各クラスでの話し合いを基に立案し、主任・園長がチェックし、更に職員会議で全体での最終検討を行っています。個別の指導援助計画は保護者の意向も汲み取りつつ立案し、ケース会議で検討協議を行っています。指導計画は、計画に基づく保育(指導・援助)の実施結果、保育者の評価考察、再計画化への視点等を記載する工夫された様式となっています。また、実際の記録も極めて詳細で組織的に十二分に検討協議されているだけでなく、連続的かつ循環的な計画と評価の上に保育の実践が織り込まれていることは、高く評価できます。</p>
<p>- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。</p>			
- 4 - (1) -	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	
<p>- 4 - (2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</p>			
- 4 - (2) -	サービス実施計画を適切に策定している。	a	
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス計画の評価・見直しを行っている。	a	

福祉サービス内容評価	第三者評価結果	評価結果講評	
A - 1 保育所保育の基本		<p>理念や基本方針の具現化のために、子どもの権利や保育所保育指針などの趣旨を踏まえた保育課程に基づき、子ども一人ひとりの発達や生活状況を尊重した保育が実践されています。乳児保育は低月齢と高月齢に配慮した保育スペースが、2歳以上からは食事と睡眠のスペースが分けてそれぞれ用意され、3歳以上児は複数保育士の担当による縦割り保育(年齢混合)と、物的・人的環境構成へ十分な配慮と工夫がなされています。また、モンテッソーリの教育方法を各年齢・クラスに積極的に導入し、基本的な生活習慣だけでなく、子どもたちの主体性・社会性・協調性等の「生きる力と知恵」が自然な形で修得できるようになっています。保育の実施にあたっては、丁寧かつ組織的・循環的な計画と評価を基に行われており、その姿勢は高く評価できます。</p>	
A - 1 - (1) 養護と教育の一体的展開			
A - 1 - (1) -	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。		a
A - 1 - (1) -	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A - 1 - (1) -	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A - 1 - (1) -	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A - 1 - (1) -	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。		a
A - 1 - (2) 環境を通して行う保育			
A - 1 - (2) -	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。		b
A - 1 - (2) -	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。		a
A - 1 - (2) -	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。		a
A - 1 - (2) -	子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。		a
A - 1 - (2) -	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。		a
A - 1 - (3) 職員の資質向上			
A - 1 - (3) -	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。		a
A - 2 子どもの生活と発達		<p>子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて、適切な働きかけや援助が行われています。長時間の保育を受ける子どもや心身にハンディキャップを有する子どもへの保育にあたっては、個別の保育支援計画の策定がなされている他、保育の標準的な方法やマニュアル等に基づいた配慮がきめ細やかに行き届いています。日常的な健康管理や給食提供、アレルギー疾患のある子どもへの対応も、集団における個々の存在を全職員が十分に認識した上で進められています。これらへの取り組みについては、明星保育園としての「あるべき保育」の手順や注意点が詳細に「標準」として示され、保育者等が組織的かつ定期的に見直すことで、更なるレベルの底上げが確保されています。</p>	
A - 2 - (1) 生活と発達の連続性			
A - 2 - (1) -	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。		a
A - 2 - (1) -	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		a
A - 2 - (1) -	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。		a
A - 2 - (2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場			
A - 2 - (2) -	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。		a
A - 2 - (2) -	食事を楽しむことができる工夫をしている。		a
A - 2 - (2) -	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。		a
A - 2 - (2) -	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。		a

A - 2 - (3) 健康及び安全の実施体制		
A - 2 - (2)-	アレルギー - 疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A - 2 - (2)-	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a

A - 3 保護者に対する支援			献立表や給食日より「たんぼぼ」を毎月配布したり、レシピを提示するなど、保護者に保育所で提供する食事に対する関心を促しています。送迎時は保護者が子どもがいる場所まで立ち入る方式であり、連絡帳への記載などの日常的な情報交換等から、保育者との意見交換やコミュニケーションが図られています。保育参観後の懇談会や、保育参加(クッキング保育、クリスマス会、虫捕り遠足等)の機会を数多く設けており、また、地域子育て支援事業と連動した育児講座の実施等を通じて、子どもの発達や育児等について、保護者と共通の理解を得るための機会を設けています。児童虐待を発生した場合の対応等についてマニュアルを整備し、子どもだけでなく、保護者や家族の養育状態、特に不適切な養育状態の把握に努めています。
A - 3 - (1) 家庭と緊密な連携			
A - 3 - (1)-	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	
A - 3 - (1)-	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	
A - 3 - (1)-	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	
A - 3 - (1)-	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a	